

お詫びと訂正

拙論「からくり人形の反乱：ペレーヴィン作品における『ヒエラルキーの崩壊』のテーマ」（『スラヴ研究』66号掲載）に関し、文中に誤記がある旨、読者より指摘を受けました。具体的には以下の箇所です。

訂正箇所（本文）

p. 4. 誤「批評家 M・ヤンポリスキー」→ 正「批評家 M・リポヴェツキー」

p. 5., p. 9., p. 13., p. 21. 誤「ヤンポリスキー」→ 正「リポヴェツキー」

訂正箇所（注）

注 8 (p. 5.) 誤「Ямпольский M.» → 正「Липовецкий M.»

注 9 (p. 5.)、注 24 (p. 9.)、注 41 (p. 13.)、注 63 (p. 21.) 誤「Ямпольский」
→ 正「Липовецкий」

注 63 (p. 21.) 誤「ヤンポリスキー」→ 正「リポヴェツキー」

また注 8、9、24、41、63 につき誤「Паралогия」→ 正「Паралогии」

以上からお分かりいただけますように、本論文の主要参考文献の1つである『パラロジー』（原題「Паралогии: Трансформации (пост) модернистского дискурса в русской культуре 1920-2000-х годов». М., 2008.）の著者マルク・リポヴェツキー Марк Липовецкий を、まったく別の批評家であるミハイル・ヤンポリスキー Михаил Ямпольский と取り違えて執筆をおこなった、そのまま発表に至ったという経緯です。完全なる思い込みと注意不足に起因する誤りですが、資料の引用の正確性が論文の信頼性に直結する人文学分野の研究者として恥ずべき間違いと認識しております。

ただ一方、筆者所有のリポヴェツキーの当該書籍に再度当たり、引用文そのものには間違いがないと確認済みであること、今回のケースが著者名の取り違えという、論旨には直接影響がないと見なすミスであったこと等に鑑み、誠に勝手ながら、誤記に関する追記をしたうえで論文自体は公開を続けたいと考えております。ご寛恕のほど、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

2019年10月27日

笹山 啓

筑波大学人文社会系非常勤研究員

執筆者紹介

LIST OF CONTRIBUTORS

伊藤 愉

(早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
助手)

ITO Masaru

(Research Associate, Tsubouchi
Memorial Theatre Museum, Waseda
University)

伊丹 聡一郎

(明治大学大学院文学研究科
博士後期課程)

ITAMI Soichiro

(Graduate Student, Graduate School
of Arts and Letters, Meiji University)

シュラトフ・ヤロスラブ

(神戸大学大学院国際文化学研究科
准教授)

Yaroslav Shulatov

(Associate Professor, Graduate
School of Intercultural Studies, Kobe
University)

大平 陽一

(天理大学教授)

OHIRA Yoichi

(Professor, Tenri University)

石井 優貴

(東京大学大学院総合文化研究科
博士後期課程)

ISHII Yuki

(Graduate Student, Graduate School
of Arts and Sciences, University of
Tokyo)

スラヴ研究

No. 67

Slavic Studies

印刷日 2020年7月15日

発行日 2020年7月16日

編集者 長 縄 宣 博

発行者 北 海 道 大 学

スラブ・ユーラシア研究センター

札幌市北区北9条西7丁目

印刷所 株 式 会 社 正 文 舎
